

田島中学校区義務教育学校開校に向けた説明会でのご意見・ご質問

令和2年2月7日（金） 生野南小学校開催分

1	ご意見・ご質問	行政は学校跡地について、現時点では避難所としての機能を残すとしているが、例えば、数年後に運営事業者が商業施設を建てる場合、避難所として機能が無くなるといったことが起こりえるのか。
	回答	防災の観点では跡地を避難所として残すことは大前提です。避難所としてのスペースを確保することを前提として条件を設定し事業者を公募するので、事業者が跡地に入ったとしても、避難所機能が無くなることはありません。
2	ご意見・ご質問	子供が多い他区の児童には、居住区の小学校より生野区の小学校のほうが近いといった状況等あると思うが（例えば、東住吉区の中で生野南小が近い児童等）、通学区域の変更は考えないのか。
	回答	現状では、通学区域は各区で考えるものとなっているため、区を超えた通学区域の変更は考えていません。仮に、東住吉区等、他区から要望があれば検討を行います。
3	ご意見・ご質問	一度の説明では今までのプロセスなどわからない。今までのプロセスを示す資料を事前に示して欲しい。今回のようなせっかくの場を活用すべき。生野区の児童の減少幅が大阪市全体のそれに比べて大きいのはなぜか。
	回答	生野区全体の将来の推計人口は、現在の13万人から9.3万人と更なる大きな減少が見込まれます。理由としては高層マンションが建設できるような大きな土地がないなどの住宅事情等があります。そのなかで、今後の人口減少を食い止めるべく、子育て・教育環境の充実や空き家対策等の対策を講じることで、子育て世代が集まる取組をまちづくりのなかで行っていきます。

4	ご意見・ご質問	生野区が他区に比べ、経済・人口といった面で地盤沈下が起きていると感じた。人口減少の原因は、便利さや住みやすさといった部分に課題があるためであると思う。現在までに地下鉄の延伸や交通網の整備などの対策を行っていれば現在の子育て世代が他区へ流出することはなかったのではないかと。行政がそういった対策を講じるべきではなかったのか。現状だけをみて子供が少ないから学校を減らすというのは短絡的ではないか。生野が底力のある区となるよう行政が頑張してほしい。このままでは未来がないのではと思われる。
	回答	生野区の学校再編については、子どもの人口減少が激しいため、20年ほど前から議論がなされてきました。行政に向けて地下鉄延伸などが望まれる声も多く、大阪市も国を交え検討してきましたが、採算が合わないことが見込まれるため困難な状況です。現状では地下鉄延伸よりもバスを走らせることが現実的と考え、本年度より5年間の社会実験としてBRTの「いまざとライナー」を走らせていますが、現在の利用状況を踏まえ、継続されるか否かが判断されるため、ぜひ積極的に利用していただきたいと存じます。現在の生野区は治安もよく、戸建てで子育てをするまちとして良い状況です。だからこそ、広報誌などを通して区のイメージを良くしながら、この学校再編を機会として、良い学校を作り、子どもが地元の中学で学力をつけることができる環境を提供できる等、良い結果を出すことで子育て世代が他区へ流出してしまう原因を払拭していきたいと考えます。
5	ご意見・ご質問	「良い学校」とは何か。
	回答	多くの保護者の方は「良い学校」に「塾に行かなくとも学力をつけることができ、希望の高校へ進学することができる」といった学力の要素を重視して求められており、そのほか部活動や人間関係・特別支援など個別に重視する様々な要素があると考えられます。そのため「良い学校」の定義は難しいですが、学力を上げることができ、進路選択時に発揮できる底力を身に着けることができる学校が「良い学校」であると考えます。加えて、今後の移り行く時代の中で、前例のない問題に直面した際に、課題を解決する能力を身に付けられる学校が「良い学校」ではないのかと考えます。

6	ご意見・ご質問	習熟度別クラス編成とのことだが、再編で2クラスになった際のクラス分けは学力別クラスになってしまうのか。
	回答	通常時のクラス分けを学力別クラスにするという意味合いではありません。授業によってクラスを分ける方式を指します。教科や単元によって、発展的なことを学びたいのか、基礎的なことを重視して学びたいのか、といった子どもたちの希望等をもとに編成したグループ別で授業を行うことで、子どもたちの理解を深めると考えます。教員の配置の面では、通常に配置される習熟度担当教員のほかに、小中一貫校として再編を行う場合、子どもの不安解消のための教員加配を行う予定です。
7	ご意見・ご質問	小中一貫校になっている前例を調べると9年生制になるとわかった。その場合、小学校から中学校へ進学する時期に、小中一貫校でなければ通常あるはずの卒業式や入学式がないまま中学へ上がるのか。林間学校や修学旅行など小学6年生で思い出を作る機会となるイベントはどうなる見通しなのか。例えば、私立中学へ進学する児童は卒業式等の場がないまま途中で消えることになるのではないかと不安に思う。
	回答	小中一貫校は便宜上、学年を1～9年生と呼ぶ学校もありますが、正式には小・中学校が同じ敷地に存在している状態です。小中一貫校でも各学校の過程を終了した卒業証書は発行されるので、卒業式もしくは他の名称で式典を行う学校もあり、卒業式が完全になくなるわけではありません。林間学校や修学旅行も行っています。新しい環境での仲間づくりを目的とした中学1年生の一泊移住等は、必要か否かを考慮して実施を考えていきますが、基本的には名称は変わっても行事は残していく方向で検討します。
8	ご意見・ご質問	すでに学校再編を行うことは決まっているのか。そのための説明会なのか。
	回答	この学校再編が最終決定とされるのは、条例が改正される時であり、今年の秋に大阪市会を経て決定される見込みです。大阪市としての方針は、先に行われた市長と教育委員との総合教育会議にて、再編を行うことで決定しています。
9	ご意見・ご質問	新校舎の建設によって運動場は狭くなる。人数も増えて、さらに多様な年齢の児童生徒が休憩時間に遊ぶことは難しいのではないか。
	回答	例えば、小学校と中学校は授業時間が違うので休み時間の設定をずらすことも可能です。新校舎建設の工事に関しても、工事業者と調整を行いながら安全第一で行い、工事の騒音等についても児童生徒への配慮の上で行う予定です。

10	ご意見・ご質問	今回の説明では、児童数の増加や、習熟度別学習等の学力向上の取組みについては触れられているが、それだけでは不安がある。 大空小を題材にした映画が全国的に反響を得ているが、様々な困難や課題を子どもたちが抱えているなか、学校が学習以外の役割を果たしているからではないか。 これまで生野南小に在籍するなかで、そのような学習面以外の学校教育の恩恵を受けてきたと感じている。再編となった時に、今のコミュニティはどうか、学習面以外の取組みについてどのような評価を行い、どう変わっていくのかがわからず、学習面でのメリットを示されても不安が払拭できない。 再編を行うにあたり、現在、生野南小で行われているような学習面以外の学校教育の取組みについて、どのように考えているのか、また、今度どのように取り組んでいくのか。
	回答	生野南小学校の現在の取組については把握しています。再編に向けて、一昨年から現在までに、各校の学校長、教育委員会事務局、区役所から集まり月に1回交流をしています。一人ひとりの子どもについて、新校開校までにどんな準備が必要か洗い出しを進め、現在行っている支援の在り方についても、開校後に向けて具体的に各校の教職員で共有していきます。教員同士が把握しておくべき各子どもの特性などについても各校の教員同士で共有しあっています。また、学校学年などに関わらずどの子どもも他校の児童生徒と交流する経験ができるように取組を進めていきます。同じ敷地に小・中学校両方の教員がいるということのできる教員と生徒の関わり方等のメリットを生かせるよう取り組んでいきたいと考えています。
11	ご意見・ご質問	小学1年～中学3年まで同じ運動場にいるのは危険に感じる。工事の際に子どもに注意するというのは当たり前のことで、再編後の安全対策について不安が残る。
	回答	再編後についてはなるべく中学生の部活動などに支障がないように第2運動場も含めて活用していきます。小学生と中学生と一緒に活動するという点についてのご不安についても理解しており、大阪市内に既設の5校の小中一貫校での前例によるノウハウも生かしながら進めていきます。具体的には、体育の授業時は教員が付くことはもちろん、小学生のいきいき活動と中学生の部活動を行うエリアを分ける、休み時間をずらすといった工夫を行う等の方法を考えていきます。

12	ご意見・ご質問	令和４年の小中一貫校の開校時には、学校選択制は小学１年生のみ利用可能なのか。また、他の学校も令和４年に再編なのか。
	回答	令和４年度に学校選択制が導入された場合は小学校と中学校の新入生に関して学校選択制が利用可能になります。生野中学校区についても令和４年に再編を行う方針です。
13	ご意見・ご質問	田島中学校区は小中一貫校であり、生野中学校区は義務教育学校となっているが、双方の違いは何か。
	回答	義務教育学校は小・中学校が１つの学校であり、小中一貫校は小・中学校２つの学校が存在するようなものです。生野中学校は４小学校から進学してくるため、中学校１年生の段階で集団育成に時間を要するというこれまでの背景より、児童の特徴を早期から把握することがより必要となると考えられることから、義務教育学校として再編を行うことになりました。教員については、義務教育学校は小・中学校両方の教員免許を持つ教員が在籍しますが、小中一貫校は小学校と中学校両方の教員がいます。もちろん、教員の配置については、現在各校に配置されている教員を基盤として配置するようにしていきます。違いはありますが、２校とも今までの学校の取組を活かしていくという点では同じと考えています。
14	ご意見・ご質問	プールの深さは小学校、中学校のどちらに合わせるのか。
	回答	新設校舎の屋上のプールは小学生用のプールとし、現在の田島中学校にあるプールを中学生用のプールとして使用します。